

岡谷市民病院 地域医療 連携だより

令和 7 年
2 月
もうすぐ春号



岡谷市民病院は「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

日頃よりのご支援ご高配に、心より御礼申し上げます。

今回は、当院における催しや、昨年秋から昨年秋から専門チームを立ち上げて行っている「自動車運転再開支援」をご紹介します。

医療と介護の意見交換会

令和 6 年 1 1 月 2 6 日（火）

今回も昨年に引き続き、近隣の病院、診療所、介護施設、居宅介護事業所、訪問看護事業所、行政等から医師、看護師、MSW、ケアマネ、支援専門員、リハビリスタッフなど多職種が集まり意見交換しました。テーマは近年の介護現場の問題と昨年のアンケートを参考に決めた次の 5 つです。

- ① 入退院にあたっての情報共有
- ② 在宅療養（訪問看護・看取り・身寄りのない人への介入・在宅で困った事例など）
- ③ アドバンスケアプランニング
- ④ 介護と医療の連携（病院に求めるもの・地域に求めるもの）
- ⑤ 多様な問題を抱えた世帯の支援

近年被支援者の社会的背景による問題が多様化し、解決に幅広い知見や手腕を必要とする事が増えています。そのため政策として重層的支援体制整備事業が始まりました。⑤はそのような背景があり取り上げたテーマです。

アンケートでは「様々な立場・職種の視点から意見を聞くことができ、新たな知識や自身の仕事の振り返りにつながった」という意見が多く聞かれました。

時間は 92% が普通と答えていますが、「短く感じた」「話せば話す程もり上がると思います」と答えた方もいて有意義な時間を過ごせていただけたと感じました。



2月7日(金)院内学術集会開催

病院が「市民の生命と健康を守る」という使命を果たすためには、職員が常に新しい医療知識の習得と医療技術の向上に努めることが必要不可欠です。そのため当院では職員の学術的活動発表の場として、毎年院内学術集会を開催しています。

また更なる学習意欲の高揚を図るため、医療の質の向上に貢献するものを選考し表彰しています。選考は参加者によって「最も印象に残った」「日常に役立つと思われる」発表への投票です。



今年も14演題、医師・研修医・看護師・薬剤師・リハビリテーション科理学療法士、作業療法士・歯科衛生士らが発表しました。また教育演題があり「胸痛症状で注意を要する、外科・消化器疾患」と題して横井医師から、胸痛症状を初期症状として経験した救急疾患を踏まえ、胸痛症状に対する診断鑑別の一助となる外科・消化器関連疾患の提示がありました。疾患の画像を見ながら実際の痛みの状態や訴えを話され、リアルな現状を知ることができました。痛みの問診「いつから（時間経過）」「どこが痛い」「どのような痛み」+検査所見が大切！ぜひ現場に役立てて！とエールを頂きました。



高齢者に関する事で興味深かったのが、「摂食嚥下機能が低下した状態で義歯安定剤を飲み込み気道閉塞を起こしかけた2症例」の報告です。義歯安定剤は透明で口腔内に固着していても見落とされやすいそうです。嚥下機能が低下している方で義歯安定剤を使用されている場合は、義歯安定剤が咽頭に固着して気道をふさぐ可能性があることを頭の片隅に置く必要があります。

もう一点が「低血糖性昏睡で救急搬送された施設入所中の高齢者3例」の報告で、食事摂取の状況と治療薬投与のバランスの難しさを感じました。高齢者糖尿病ガイドラインでは、【低血糖リスクを伴う薬剤を使用する場合、著しいADL低下を認める患者のHbA1c目標は7.5~8.5%とされている。過度な糖尿病治療薬は低血糖による様々なリスクを増加させ、患者のQOLを下げるため、適切な範囲での治療と適度な血糖測定が重要である】とうたわれています。

市民公開講座 令和7年2月15日(土)



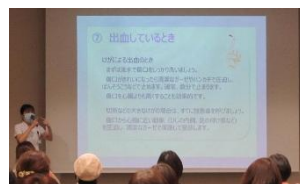
インストラクターの皆さん

内容は、子ども編として【家庭での対処方法】を、救命救急編として【心肺蘇生の方法】をレクチャーしました。参加者は80名。小学生から高齢者まで幅広い年齢層が集まりました。

『受診のタイミングはいつ？緊急性のある子どもの症状』では発熱、おう吐・下痢、咳、けいれん、頭を打ったときなど、日常の中で経験する症状について中林小児救急認定看護師からわかりやすくお話ししていただきました。

心肺蘇生では簡易式人形を用いて、大橋医師が講義と実技を繰り返し行いました。

まず、胸骨圧迫とAEDの重要性と普及経過を「命の記録 ASUKA モデル」の視聴で学び、「救急アニメ」のボジョレー君とともに実践です。互いに掛け合あう声も段々と大きくなり、最後の倒れた人発見！から救急車到着の10分間（実際は5分くらい）の通しでは、協力して救急蘇生ができました。



質問では、「うつぶせに倒れている人を仰向けにする方法は？」「出血がある場合はどうするの？」「子どもと大人では胸骨圧迫の効果が違うと思うが、きちんとやれなくても良いの？やる事に意義があるの？」など具体的な質問がありました。何もしないよりやる事の効果を話され、今日

覚えて帰ってもらいたい3つのプッシュを繰り返し話されました。

★★3つのPUSH★★

- * 胸を **PUSH** : 胸を押すだけのカンタンな心肺蘇生で救えるいのちがたくさんあります。
- * AED のボタンを **PUSH** : 音声指示に従い、安全を確認してショックボタンを押します。
- * あなた自身を **PUSH** : 勇気を持って声をかけてください。できることを何かしてあげて下さい

PUSH プロジェクトは、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAED(自動体外式除細動器)の使い方の普及を通じて、みんなが救命処置をできるまちづくりを目指す事業です。岡谷市民病院で PUSH 認定インストラクターが出向いて直接指導を行う「よりあい講座」でも行っています。



自動車運転再開支援



リハビリテーション科

脳卒中や頭部外傷により、身体の麻痺や高次機能障害の影響で、運転に必要な操作・注意・瞬時の状況判断が困難な場合があります。当院では、高次機能検査、ドライブシミュレーター、実車運転評価等により、自動車運転能力を総合的に評価し、必要に応じた訓練を行っています。

対象は、脳血管疾患による運動麻痺がある方、高次機能障害により自動車運転の再開に不安(-_-;)がある方。 ※認知症、てんかんの方は対象外です。

自動車運転支援の流れ



お問い合わせ ☎0266-23-8000 岡谷市民病院 リハビリテーション医 重松 理

岡谷市民病院公式 Instagramはじめました！



岡谷市民病院
公式
Instagram
こちらの
QRコードから
スマホのカメラで
読み込んでください

～編集後記～ この前実家の庭にフキノトウを見つけました。相変わらずの寒さですが、朝の日差しも柔らかくなっている気がします。春もゆっくり近づいていますね (K)